

1991~1992 RIテーマ

自分を越えた眼を

Look Beyond Yourself

RI会長 ラジェンドラ・K・サブー



例会 NO 59

No 2- 25 1992. 1. 15 発行

Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1991~1992年度クラブ目標 “親睦と奉仕の流れを創ろう”

第59回例会報告(1/8)

特別代表 由井 重光

司会 SAA 小島周二郎

☆点 鐘 会長 田中 實

☆国歌斉唱

☆ロータリーソング 「我等の生業」

ソングリーダー 菊地 敏

☆会長報告 会長 田中 實

新年明けましておめでとうございます。

今年は申年で大分暴れる年と昔から言われておりますが、先行きの見通しが立たないと言われております。皆さんの企業の御繁栄と皆さんの御健康を記念致しまして乾杯。

—— 【新春を壽ぎ乾杯】 ——



会長報告につきましては例会に先立って、第7回定例理事会を事務局に於いて開催致しました。

* 第7回定例理事会の開催。

1992年1月8日(水) 10:30

於：クラブ事務局

出席者署名 田中、宮本、海野、高野

小城、戸田、赤尾、奥木、大熊

【議題1】 奉仕活動の重点プログラムについて

議案

上記について社会奉仕委員会からの提案は、クラブ協議会での経過より判断して実行困難と思われる。代替案を早急に企画するために、プロジェクトチームを編成したい。

(議案説明 会長 田中 實)

「決議事項」 原案通り、チームメンバーは、現、次期会長、幹事、奉仕委員長に選任してもらおう。

【議題2】 バングラディッシュ災害救援募金について

議案

別紙の通り。要請が来ているので会員1人当たり1000円を改めて提出して頂いてクラブとして協力したい。

(議案説明 会長 田中 實)

「決定事項」 提案通り

【議題3】 その他

議案

ローターアクトの献血要請について理事会として、会員の協力を是非お願いしたい。

(議案説明 会長 田中 實)

「決定事項」の提案通り

☆幹事報告 幹事 宮本 誠

新年お目出とうございます。

- *新年早々ですが、皆様のファイルの中に後半の会費の請求書と新しい会員証を入れさせて頂いております。今までの会員証は昨年12月31日までのもので処分して下さい。
- *定例理事会でパングラティシュ災害救援募金のご協力をお願いについて吉田ガバナーから参っておりますので、皆様に一人1000円づつご協力して頂く事になりました。今日お帰りの時事務局にお支払い下さい。
- *地区ローターアクトより献血要請が参っております。全ロータリアンに対して献血をお願いしたい。御案内の通り1月19日各会場で皆様に理事会としてお願いすることとなりました。
- *事務局に歴代ガバナー名簿が来ておりますので、ご覧になりたい方は事務局までお出下さい。
- *ガバナー月信の最後の頁に2750地区の11月の出席報告が出ております。我がクラブは多摩東分区では出席率は4番目となっております。

☆委員会報告

★親睦委員会

奥木 博勝

ニコニコBOX

- 萩生田茂夫 新年の初例会で会員の皆様の変わらない元気な顔を拝見して安心しました。
- 隅 耕造 昨年はXmaに参加出来ず申し訳ありませんでした。今年も宜しく。
- 由井 重光 平成四年の新春を寿ぎ多摩グリーンRCの御発展を祈念して。
- 奥田 文夫 鹿児島まで車で往復してきました。
- 田中 實 初例会にふさわしい天気でおめでとうございます。
- 松原 健 今年もおもちを食べて良いつきが来る様に。
- 足立潤三郎 新しい年を迎えまして本年もよ

ろしく。

- 橋本 幸夫 新年おめでとうございます。本年もよろしく。
- 遠藤 二郎 新年初例会を祝して。
- 宮本 誠 新年おめでとうございます。
- 城倉 正博 新年お目出とうございます。
- 今井 正司 新年に当たり、心新たにロータリーのメンバーとして頑張ります。
- 橋口 洋三 新年おめでとうございます。本年もよろしく。
- 佐伯 和廣 あけましておめでとうございます。成人式ガンバリマス。
- 新海源四郎 新年第1回、本年もよろしく。
- 海野 栄一 あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。
- 菊地 敏 おめでとうございます。
- 北村 幸彦 新年おめでとうございます。今年も皆勤になるよう頑張ります。
- 吉沢 洋景 本年も皆様、健康に御留意下さい。
- 須藤 起雄 おめでとうございます。
- 赤尾 恭雄 明けましておめでとうございます。今年度のロータリーも折返し点に達しました。頑張らましょ。
- 大熊 将夫 新年おめでとうございます。本年こそ良い年でありますよう。
- 小島周二郎 おめでとうございます。
- 杉田 誠 本日は54回目のバースティです。
- 猪股 末男 今年も良い年であります様に。
- 戸田 昭寿 今年も体を鍛えて運動不足を解消したい。
- 伊神 稔 良い年であります様。
- 横倉 舜三 あけましておめでとうございます。
- 風間 茂穂 正月休みは人間ドックでムシヨならぬ無酒で生活をおくりました。
- 津守 弘範 正月でおめでとう。今年もよろしく。
- 奥木 博勝 新年おめでとうございます。元旦に国立競技場にて天皇杯サッカー、日産優勝し、息子と大喜びで本年エンギ良し。
- 吉尾警太郎 気狂い、左駄無布施員、わが多摩グリーンRCは西川女史に乗っ取ら

れていた。私の初夢、怖かったですヨー
以上 合計 ¥ 83,000円

★会報委員会 奥田 文夫
皆さんお目出とうございます。

*第57回例会報告会報に訂正があります。最後の頁の枠内で 1/15 が休会となつておりますが休会ではありません。間違いのないようお願いします。

*会報委員会は毎回皆さんからのイニシエーション・スピーチとか卓話とか、委員会報告等テープを取って苦勞して書いておりますが、主旨が違ったり、聞き取れなかったりして大変ですので、原稿のご提出に御協力をお願い致します。

【宮本幹事：補足】

1/15は休会でなく例会場で新年会を行う予定となっております。親睦委員会とプログラム委員会を検討しております。その際は一人一人の近況報告をお願い致します。多くの出席をお待ちしております。

★出席委員会 橋本 幸夫
〔出席報告〕

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	43	40	—	3	93.02%
前回訂正	43	38	1	4	90.70%

尚 本日の事前メイクアップなし

【1992～93年度役職分担発表】

次年度会長 赤尾 恭雄



皆さんおめでとうございます。
昨年暮れの 12/25の年次総会に於いて役員、

理事が目出たく選出されまして、翌日12/26 第1回被選理事会が開催され、下記の通りSAA委員長及びクラブ奉仕委員長、国際奉仕、職業奉仕、社会奉仕の各常任委員長並びに青少年奉仕委員長が選任されました。

なお席上、次年度幹事遠藤二郎会員の提案により、副幹事に小島周二郎会員が選出されました。

〔次年度多摩グリーンRC役員・理事〕

(敬称略)

会 長	赤尾 恭雄
会長エレクト	横倉 舜三
副会長(クラブ奉仕委員長)	萩生田 茂夫
幹 事	遠藤 二郎
会 計	伊神 稔
理 事(SAA委員長)	足立潤 三郎
理 事(国際奉仕委員長)	新海源 四郎
理 事(職業奉仕委員長)	吉田 文夫
理 事(社会奉仕委員長)	吉尾 警太郎
理 事(青少年奉仕委員長)	吉沢 洋景
副 幹 事	小島周二郎

尚第2回被選理事会を本日開催し、各委員会組織を決める予定であります。2月末までに被選クラブ協議会を開催して、次年度の委員会の活動計画の立案に入ってゆきたいと存じます。3～4月初旬までに次年度の立案を終えたいと考えております。5月末までに事業計画を冊子にまとめてガバナーに報告しなければなりません。二年間培われた親睦の歯車を何とか奉仕の歯車に転化して行くと言うことで皆さんにご努力をお願いしたい。

【年頭所感】

会 長 田中 實



本年度はチャーターナイトの直後であった

為で時間もなく事業計画を各委員会に出して頂きました。いろいろ経過もあって半年も過ぎ、成果の上っていない分野もあり、残った六ヶ月間で実現を計って行きたいと思います。次年度の役員も決まったので新しい役員を通じて将来に渡って多摩グリーンRCとして恒久的に維持出来る事業計画を持ちたいと考えて、あと二ヶ年経った時の、五周年記念に向けてもつて行ける奉仕活動を重点政策に取り上げたら良いと考えて理事会に相談申し上げました。

社会奉仕と行っても中も広く、その中で身体障害者を大体の対象にして少し巾をつぼめて知識のある方に集まって頂き、クラブ内の会員の皆さんの認識を高め、基本的知識が得られるような研究計画を立てて頂くように考えております。従って通常の委員会計画と重なったり、平行する部分もありますが、計画を立てましたので、皆さんの全面的御協力をお願いします。

それからロータリーの話から外れますが、これからの日本の経済が非常に難しい時代に入っていくようですが、その中で国際的にもまれ、国内的にもいろいろ先行きの難しいと言う時にこそ、ロータリーの精神を身に付けて、と言うよりロータリーを楽しむと言う事を我々は目指して行くべきだともっております。

共産社会が崩壊し、武力生産が今後どう変わって平和産業となって行くか、それが我々に対してどのような経済的影響が出てくるか、又は国際的には奉仕活動にどのような影響が出てくるかであります。

日本では昨年(19)の台風によって約5000億円の保険金が支払われるが、これが社会にどのように流れ出てくるものかによって社会生活の流れが変わっているのではないかと思う。

従ってその中でロータリアンとして考え、思想の哲学を維持して行くか考える時期にきていると思う。特に国際ロータリーではいろいろ定款変更を考えていねるようです。

今年は申年で暴れる年でもあります。その中で我々は頑張るってゆきたいと思ひます。

~~~~~ † ~~~~~

## 【年頭のご挨拶】

幹事 宮本 誠

ばたばたと半年が過ぎて行きましたが、皆さんと親睦が深められたことは喜ばしく思っております。後の半年を会長に添って一生懸命にやって行きたいと考えます。



## 【年頭にあって】

特別代表 由井 重光



皆さんお目出とうございます。ご家族共々良い正月であったと思ひます。近所の神社に参拝して健康で良い正月を過ごしたと思ひます。病気をしないで家族が健康と一緒に正月が祝い出来るのが一番幸せのような感じが致します。皆さんも今年一年間身体に注意して頑張ってください。

皆さんが正月に一番会ってみたいと思ひたのは、このロータリーの中での友達ではなかったらうか。昨年と比べて今年の皆さんの顔は変わりました。随分慣れて、和気あいいとお互いに話をしておりました。良い正月を迎えられるのもロータリーのお蔭です。結婚して以来皆さんは素晴らしい友達が出来たと思ひますが、どうでしょうか。

ロータリーは学園であり、友達も作りましょう、勉強もしましょう。入学はあるが卒業はないのがロータリーである。一人もロータリーからさよならをしないで欲しい。ヤァー

と言って声を掛けられるのは現役の会員なのである。私の親クラブで辞めた人に町で会っても、何か一つの壁があるような感じがします。去って行く人はロータリーからだけ去った人のように思えない。そのような人は人生の落伍者のように思っております。

正月になりますと前半が終って後半に入りますとクラブ協議会が開催されます。これは前半を省みることで、後半をどのように締め括るかと言うことである。

会長の年間の計画である親睦と奉仕の流れを作ろうと言う方針は達成されていると思う。

SAAの方々がお会を盛り上げているのは呼ばれたら返事をしましよと言うことに特色があり、格式を高めている。他のクラブにない事で喜しく思っております。合唱の際にもタクトを正面のテープの前でやって欲しい。

出席の件は努力しておりますが一つのクラブのイメージですので努力し、休んだら必ずメイクアップして欲しい。

増強のことについてはロータリーの友の12月号にサブ会長の言葉があります。「心にゆとりがあれば」という題で新会員が入ると奥行きと巾が一層広くなりますと言っています。心にゆとりがあれば、家にもゆとりがあるとあり、「自分を越えた眼を」が味わう事が出来る。会員の数も43名は東分区では下の方で、早く増員をして頂きますようお願いする次第です。

前半はエネルギーが内に籠っていたが、後半は是非そのエネルギーを外に眼を向けて出して欲しいと思います。先程会長よりプロジェクトチームを組んで行くと言う話を聞いて良かったと思う。

ボールハリスがロータリーを作って友達同志を助け合おうとしたが、ロータリークラブはそれだけでは満足せず、シカゴに公衆便所を作ったり、国際奉仕をしたりして成長してきている。そのようなことをしないと自分達が、ただ来て食事をして話しているだけでは満足出来ません。だから地域に向かって、或いは国際的に向って、奉仕のエネルギーを放出して下さい。他のロータリークラブでは特別養護老人ホームを訪問したりして大変喜ばれ

たとか、ボーイスカウト連盟と共同して海岸の清掃を行ったとか、いろいろ奉仕活動しております。当クラブでもこのような奉仕をして欲しいと思います。このままでは歴史に残るものがなく、是非計画して欲しいと思います。新しい委員会の中で充分検討して行って下さい。

今年の年頭の計画で事業を行うところまで計画書が出来ていなかったようで、後半は何か実施して欲しい。緑と太陽の町、多摩で役に立つことかが出来れば良い。創立総会の時にチューリップの球根を配ったのは一輪の花でも咲いて頂きたいという願いがあった。

多摩グリーンRCと言うチューリップの花を咲かせて欲しい。

年頭に当たり皆様の御健康を切にお願い申し上げます。

---

### 【イニシェーションスピーチ】 《私の写真人生》

佐伯 和廣



私は1948年、昭和23年9月24日、東京都下立川に生まれました。

父は多摩乞田、母は渋谷丸山町、母の生家は芸者、置屋、よろず屋で私は生まれた時から芸者さんに囲まれて育ちました。小学、中学は地元の学校を出ました。高校入学と共に写真部に在籍したのが写真屋を始める切っ掛けです。

高校2年の時、東京オリンピックがありました。聖火が日本を駆け巡る時です。その聖火が武蔵野市役所に一泊しました。写真部でその時撮った写真がたまたま武蔵野市長賞に入りました。家族も市長賞が切っ掛けで写真に対して理解を示してくれる様になりました。勉強は嫌いでしたが、大学までは卒業しまし

た。

高校3年の時、テレビ局に興味があったものですから、日本テレビ外部でアルバイトをやりました。その頃日本テレビでイレブンPMという番組があったのですが、その番組でスキーガイドを始めようと言うことになったのですが、スキーで滑りながら16mmを撮れる人が誰もいなかったのです。

私も16mmは撮ったことは無かったのですが、スキーは一般の人よりも転ばない程度に滑れました。「お前やってみないか」「お願いします。撮らせて下さい。」と言うことでやり出したのが、イレブンPMのスキーガイドでこの仕事が3年続いたんですが、当時、日本全国に有りました殆どのスキー場を、あご、足、小遣い付きで何不自由なく3年間スキーシーズンは遊びました。今思えば最高でした。

大学卒業後、写真材料の間屋から声がかかり、撮るばかりじゃなく用品、内容も覚えた方が良いと言う事で1年間写真材料屋で働きました。

1年勤めた翌日、社長命令でAP通信の方がカメラマンがいらないからと言うことでアルバイトとして出向で行かされて、そこで正社員として採用されました。それからAP通信でいろいろ活躍しました。

オリンピックも、グルノーブル、ミュンヘン、サッポロ、それから浅間山荘事件の時も撮影に行きました。AP通信は外資系ですから、世界的なニュース記事が主な仕事内容です。例えば、世界タイトルマッチとか、今夜も行きますが宮中晩餐会など。

12年前に今の土地が区画整理も終り、何か商売をしたらどうかと言う事で、幸い多摩に写真屋が無かったので、写真屋をやるからという事でAP通信の方へ辞表を出したのですが、10数年経った今も受理されていません。お金だけは今だにいくらかは貰っています。

あそこに店を出しましたが、写真屋という

より、写真の事を聞けば何でも教えてくれる、又どうしたら良いのかという「アドバイス」の出来る店になれという事で、そのつもりで店をやっております。以上が現在の状況内容です。今後共長く御指導を頂きたいと思えます。

### ==== 【Rotary 一口情報】 =====

#### — 《理事会の先議権》 —

クラブ組織のなかで最後に特に注意しておかなければならないのは、クラブ理事会と例会との関係である。理事会はクラブの管理運営についての最高決議機関であり、その決議を破れるものは例会の三分の二以上の議決以外にはあり得ないという事、極く細かいことを除いてはクラブの管理運営に関する提案を会員の総会である例会で直接討議してはならないという大原則がある。その理由は簡単である。例会は会員および来訪者の親睦の場だからである。親睦の場に議論の起こる余地を残さないように、組織上配慮されているのである。もしそれに反すると、たちまち例会変じて討論会となり、食事の味がまずくなることは確かであり、もしこれが長引けば、会長の管理能力が疑われる結果となるであろう。したがって、一切の提案についての論議は必ず理事会で行われなければならない建て前になつている。(中略)

親睦だ。和合だといいいながら、その親睦を保障する組織になつていなければ、親睦を求める人は争うものなのである。このような人間管理の原則から、ロータリーにあっては、討論の場を、理事会、役員会またはクラブ協議会に、そして親睦の場を例会にと、機能的に分けていることは、まことに巧妙であるといわなければならない。唯一の討論の場である例会は、毎年12月に開かれ、来る七月一日から看任する次期理事の選出を行う年次総会かまたは臨時総会である。(以下略)

(小堀憲助氏著作より抜粋)



## 東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：田中 寛 副委員長：栗田文夫・赤崎：赤尾時盛  
幹事：宮本 誠 遠藤二郎・津守弘彰・橋口洋三  
会報委員長：足立 福三郎

事務局：東京都多摩市落合547  
多摩センタービル7F  
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

\*例会場 多摩センタービル7F サブライオンケトルーム

\*例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30